

- 1 食の安全にこだわります。
- 2 健康な食べ方を大切にします。
- 3 国内自給力アップをめざします。
- 4 遺伝子組み換え作物を認めません。
- 5 有害物質ゼロをめざします。
- 6 自然資源を大切に使います。
- 7 ごみの削減に取り組みます。
- 8 原発のない社会をめざします。
- 9 おたがいにたすけあう社会をめざします。
- 10 自分たちで決めて、自分たちで実行します。

FEC自給ネットワーク

生活クラブは、全国32の生活クラブ生協のネットワークで、F(Food) E(Energy) C(Care)の自給できる地域を作りだし、サステイナブルな社会の実現を目指します。



みんなで進める仲間づくり

～FEC自給ネットワークづくりのために～

私たちは、自分たちの望む社会を実現するためには、仲間(消費材を利用する組合員)を増やしていくことが必要と考えています。2017年度は、全体で1,600名の新しい仲間を増やす計画で、支部でも仲間を増やす目標をもって活動していきます。

企画にゲストを誘おう!

「14000人のほっとコミュニケーション」、講演会や映画上映会、生協祭あいたくて都市生活など、たくさん実施する企画にゲストを誘って参加しましょう。

せっけんクラブや、食育プロジェクトや、ビオサポチームの企画もあります。

ひとりでもできる!

●おうちdeカフェ

組合員以外のお友だちを一人以上誘って、消費材を試食しながら生活クラブを知らせる「おうちdeカフェ」は、気軽に開催できると好評です。今年は開催数の枠を増やして呼びかけます。

●ポスティング隊

支部のつどいの代議員にチラシ配布を呼びかけたのが、その始まりです。ひとりでもできる活動として、ポスティング隊の登録も進めています。できる範囲で、一緒に取り組みましょう。

組合員からの紹介が一番!

春は新しいことが始まる季節です。近所の引っ越しや、子どもの進学などで出会った新しい方に、あなたのお気に入りの消費材をおすすめしてみてください。安心安全な消費材、その情報を持っている人が近くにいるかもしれません。

春の紹介キャンペーンも始まっています。あなたの「おいしいから食べてみて」というひとことが大事です。

生活クラブをまだご存知ない方のために、

今だけ 無料
お試しセット
プレゼント

数量限定
8月31日必着 1000名

資料請求の方にもれなく
選べるプレゼント
キャンペーン

子どもが安心して食べられる食材だけを
お届けする生協。それが生活クラブです。

A. 口に広がる脂が甘い!
肉の旨さを感じるセット

※冷凍せずにお届けするフランクフルトからカレーソー
石井食料センターの鶏ミンチ(200g)
※お肉類、お魚類、お野菜類はすべて、お肉とお魚類はすべて
ラインナップのボークウィンナー(150g)

B. あっという間にもう1品!
食卓・お弁当に
もう1品セット

※おうちで作るより30%お得な特別!
国産100%のチキンナゲット(200g)×2個
※冷凍食品は常温で届くのでお気を付けください。
平田牧場の豚肉を使った餃子(150個)×2個

C. 子どもに安心なおいしさを!
子どもスクスクセット

※お肉とお魚類はすべて、お肉とお魚類はすべて
お肉とお魚類はすべて、お肉とお魚類はすべて
※お肉とお魚類はすべて、お肉とお魚類はすべて
子ども向け(100g)

子どもたちへの贈りもの

無添加 国産 遺伝子組み換え不使用 減農薬

サステイナブルなひと、
生活クラブ

春の紹介キャンペーンの資料請求のお申し込み
※お申し込みはコチラから!
生活クラブ 検索
www.seikatsclub.coop

春のお誘いキャンペーンは6/2まで!

組合員が自ら仲間づくりをすすめるのは、生活クラブならではの。組合員一人ひとりの小さな動きが大きな力につながります。あなたにできる何かを見つけて、一緒にやってみましょう。

だから、生活クラブ

「消費材」と呼んでいます



「商品」ではありません

生活クラブの目的は、自分たちの生活をみんなでよりよくしていくこと。そのため、取り扱う食品や生活用品を、利益を得ることが目的の「商品」ではないという意味を込めて、「消費材(しようひざい)」と呼んでいます。

使用価値を表すことば「消費材」

生活クラブの組合員にとって価値あるものは、売る側にとって価値あるもの＝「商品」とは根本的に違うもの。生活クラブはその違いを、「商品価値」に対して「使用価値」であると定義し、「消費材」という新しい言葉を作ったのです。

生産効率や低コストを優先させるのではなく、消費者の視点で開発をした「消費材」です。原材料にこだわり、時間と手間を

かけたものばかりなので「高い」というイメージがあるかもしれませんが、生活クラブの共同購入は、組合員が計画的な申し込みや利用をして、生産者が計画的に生産をすることで無駄な在庫を持つことがなく、コストを抑えて「納得できる品質と価格」を実現させているのです。

顔の見える関係で消費材作り

生活クラブでは、生産者を呼んで話を聞く交流会、消費材の作られている現場をみる見学会、そして大試食会やまつりなどを行って、生産者と組合員お互いの顔の見える関係を築きながら、よりよい消費材作りをしています。

欠かせない消費材「お米」

数ある消費材の中でも、私たちの食生活に欠かせないのが米です。お米は、日本人の主食であり、稲作は日本の象徴です。お米によって、その栽培方法は様々で、都道府県別に一般慣行栽培の農業基準が定められていますが、私たちのお米は、慣行栽培の半分より少ない農薬使用で、生物多様性が守られる田んぼで育てられています。また、食味も良く、お弁当など冷めてもおいしく食べられると評判です。もちろん、生産者交流会や田んぼの一年を知る活動(田植え、生き物調査、稲刈り)などで、顔の見える関係づくりもしています。

私たちのお米の良さを知って、本当の美味しいお米を食べることで、元気な心と体を作っていきましょう。



「竜おうみ米」生産者★竜王町稲作経営者研究会

1992年(平成4年)に14人の有志で結成。現在は21名。竜王町で母なる琵琶湖の環境を守り、有機農業をすすめている生産者です。竜王町の農業を衰退させず持続させていこう、町の農業のリーダー、お手本になるようにと集落の牽引役として頑張っています。

2013年度より、関西の『主産地形成』の一環として関西の生活クラブとの取り組みがスタートし、「種を播く時から食べる人が分かる『むすびつき米』の量を増やそう」と、生協向けのお米を増やす努力をしています。『竜おうみ米』は、有機肥料と3成分以下の農薬(厳しい基準の滋賀県の慣行栽培でも14成分以下)で育てた、無農薬に近いお米です。

また、『豆伍心』の豆腐の原材料となる大豆栽培でも生活クラブと提携し、お米以外に、もち米、大豆、麦、その他野菜も栽培しています。



お米には、パワーの源となるでんぷん(デンプン)の他、タンパク質や脂肪、ビタミンB₁やビタミンEなどの栄養素がふんだんに含まれていて、まさに栄養の宝庫!なかでも成分の7割以上を占めるでんぷんは極めて質が良く、消化・吸収も高いので、力をたくわえ、持続するといわれています。



生活クラブの健康な食デザイン

ビオサポって知ってますか？

「ビオサポ」という言葉、もうおなじみになってきましたか？まだ知らない方や、見たことあるけど何だったっけ?! という方に…「ビオサポ」について、そして私たちビオサポチームの活動について紹介したいと思います。

「食べもの」も「食べ方」も

「ビオサポ」とは生命を意味する「BIO」と「美を」を掛け、生命力あふれた健康な食生活をサポートしていく、という意味の生活クラブの造語です。消費材で、カラダもサイフも、そして環境や社会も健康にしよう! という欲張りな提案です。食べものの知識はきちんと学ぶけれど、家庭での実践はおおらかに…をモットーに、仲間と一緒に楽しく実践することを目指しています。

食の悩みを解決してくれる!

「子どもにはちゃんと食べさせたい」「家族の健康が気になる」「食の安心・安全って大事なことだけど、何から始めたらいいのかわからず」という誰もが持つ不安や疑問にこたえてくれるのが「ビオサポ」です。具体的にどんな提案があるのでしょうか？



ウェブサイトやカタログを開いてみると、献立、レシピ、かشこしい食材の選び方、使いこなし、食材の保存方法などなど…すぐに役立つ情報がいっぱいです。特にビオサポサイトの『ビオサポ的おいしい暮らしのススメ』をまだ見たことがない人は、ぜひ一度開いてみて下さい。

『ビオサポ的おいしい暮らしのススメ』はこちら→



私たちビオサポチームです!

今年度で活動3年目になります。現在6人のメンバーで活動しています。この機関紙都市生活の「ビオサポ日記」や契約野菜「畑の便り」の「ビオサポだより」など情報発信や、食の講演会や講座、学習会の企画をしています。



昨年度は、生活クラブの管理栄養士によるビオサポ基礎講座やビオサポーター養成講座を開催し、参加者みんなでバランスの良い献立作りをしました。他にも「ごはんは米と水だけでできている?!」の紙芝居を作ったり、添加物の講座、卵学習とシフォンケーキ作りなどを行いました。「生協祭あいたくて都市生活」「こうべ食育フェア」でも、試食や実験などを通して情報を発信しました。

実験やクイズ、実際に調理すること食べることを通して、明日から使える情報をみんなで共有できたらと思っています。

「知って選べる人が増えたらいいね!」「食に関わる人の思いが一人でも多くの人に伝わるといいね!」「そのために私たちにできることは何だろ?」と…いつも静かな熱い思いがあふれる、元気で楽しいビオサポチームです。

ぜひ一度! 参加してみてください!

- ① **ビオサポ基礎・発展講座**…5~6月に2回開催予定。市場の食の問題、栄養やバランスの良い献立等について学びます。
- ② **ビオサポ講座forビギナーズ**…加入して間もない方向けに、消費材の具体的な使いこなし方法などをお伝えします。
- ③ **情報発信**…引き続き機関紙都市生活でのビオサポ日記、「畑の便り」に活動の様子やおすすめレシピを掲載します。



超簡単! ミルクプリン

[材料] 4人分
 ノンホモ牛乳 400cc
 素精糖 大さじ1~2
 クリスタルゼラチン 大さじ2

[作り方]

- ① 鍋にクリスタルゼラチン、素精糖を入れる。
- ② ノンホモ牛乳を入れる。
- ③ ゴムペラで混ぜながら45℃程度(熱いお風呂のお湯程度)に温めて、ゼラチンと素精糖を煮溶かす。
- ④ 溶けたら粗熱をとり、容器に流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。

これいい♪クラブの牛乳レシピコンテスト『こどもに人気間違いなしで賞』受賞作品! 三田北神支部の「おさんぽぺんぎん」さんのレシピです。

ノンホモのクリームが表面に固まる! ほんのちよつとだけ2層になるプリン!



クリエイターが一堂に会して「組合員活動」を考えました

クリエイターオリエンテーション報告(3月13日 兵庫県私学会館)



3月、各支部では、「支部のつどい」を開催しました。一年間の活動報告、活動費の会計報告と、次年度の活動方針や予算の協議、また、次年度、支部を運営するクリエイター、会計監査、ひろば運営委員が承認されました。新年度のクリエイターオリエンテーションを開催し、改めて承認された支部の方針に沿って活動に取り組むことを確認しました。

支部を運営していくために

支部はクリエイターによって運営されています。また、子育てひろばが、ひろば運営委員を中心に子育てサポーターによって企画運営されています。

毎年3月、新年度を迎えるにあたって、クリエイターを対象に支部運営のためのオリエンテーションを行っていますが、今回は子育てサポーターにも参加を呼びかけ、一緒に支部活動のあり方を確認しました。運営する上での注意点も確認しました。

エコロ mini レター

昨年10月から始まった「エコロたすけあい制度」。加入者は700名を超え、組合員どうしの助け合いがあちこちで行われています。

例えば、高齢で重い物が持てなくなったので粗大ゴミをステーションまで運んでほしい、といったことや子どもの保育園のお迎えを友だちに頼んでいた。度々になると言いにくかったが、エコロができたことで頼みやすくなった、という声も。このように、エコロたすけあい制度はちょっとした困りごとを組合員の手で解決できるしくみです。今は直接たすけあいに参加できなくても、あなたがエコロに加入することで誰かが

活動方針の共有

私たちは、生活クラブの仲間と共に、生協のネットワークでFECを自給できる地域をつくり出し、持続可能な社会の実現を目指しています。そのために、支部では、様々な企画を開催し、より多くの組合員に出会い、F(食)、E(エネルギー)、C(福祉)を伝えること、また、友だちを誘って企画に参加するよう呼び掛け、仲間づくりにつなげることを方針としています。特に、生活クラブビギナー(新加入組合員)に企画参加を呼び掛け、生活クラブの利用のしかたをサポートします。紹介サンプルを渡す、身近なポスティングに取り組むなど組合員に呼び掛け、おおぜいで仲間づくりに取り組みます。

子育て世代が参加したくなるような企画や気軽に参加できそうな企画、生産者に直接話を聞ける交流会など、ビジョンフードを中心としたテーマで具体的に活動計画を進めています。

活動することの価値

全員が意見を出し合う参加型のワークショップで、日ごろ行っている活動を振り返り、活動することについて考えました。生活クラブらしいと感じている活動や支部で取り組む活動についてその協同組合としての価値を探し、各々の捉え方が必ずしも同じではなく違っていたりすると気づき、意見交換することで活動の意義を確認しました。

私たちの活動が多くの人にとって価値のあるものだと感じられたことで、これからの一年間、皆で元気に活動し、支部だけでなく生活クラブ全体を盛り上げていくことを確認した一日でした。

助かります。多くの組合員が加入することで助け合いの輪が広がる制度ですので、まだ加入していない方はぜひ加入してください。

★お問合わせは配達職員、または **078-904-3260** (都市生活本部センター)まで。

★制度の詳細内容は「エコロガイドブック」をご覧ください。お手元がない方は上記お問合せ先までお気軽にご請求下さい。





生産者コラボ企画

「生産者コラボ企画」は、生産者に協力してもらい、支部と生産者が一緒になって仲間づくりをすすめる企画です。直接生産者から消費材や生活クラブのことを聞き、市販品との違いや調理を実演したり、ランチをしながら味を知ってもらいました。職員とも連携し、企画当日でも加入ができるようにしました。



本当の美味しい餃子のせかい ～添加物を使わないおいしさに迫る～

生産者：美勢商事(株)×東はりま支部
(2/21 東播磨生活創造センター)

安い餃子って、原料は何が使われているかわかりますか？食品添加物や原料に何が使われているかなどのお話は興味深いものがありました。プロの餃子の焼き方のコツを教えてください、参加者が焼いた餃子を飲茶ランチでいただきました。当日加入4名。

ケチャップのひみつとこだわりミニランチ

生産者：コーミ(株)×南神戸支部
(12/15 ブランチ神戸学園都市)

市販品のトマトケチャップと食べ比べをしたりして、生活クラブのトマトケチャップの美味しいひみつがわかりました。調理実演では、ケチャップを使ったスープも教えていただきました。当日加入2名。



せっけん生活はじめませんか

生産者：エスケー石鹸(株)×西宮支部
(2/23 西宮市消費生活センター)

合成洗剤とせっけんの違いって何？小型の洗濯機2台を持ち込んで汚れ落ちの実験もありました。その後はカレーバイキング。食べた後のお皿もせっけんで洗います。残念ながらこの日は、当日加入はありませんでした。



NONちゃんのGM(遺伝子組み換え)講座

遺伝子組み換え(GM)なたね自生調査って？



なたね油の原料となる輸入なたねのうち、カナダ産は87.6%を占めますが、カナダで生産されるなたねのじつに93%がGMです(2015年)。なたねの種子はとても小さな粒で、種子の状態では輸送の際にこぼれ落ち、道端で自生しているものが見つかります。それを放っておくと、在来なたねやカラシナ、同じアブラナ科のブロッコリーなどと交雑し、商業栽培は認められていないこの日本で、GM汚染が広がってしまいます。

生活クラブ都市生活では2005年から、自生しているなたねがGMではないか調査を続けていて、全国の仲間とともにGM汚染を監視しています。この活動により、製油会社もこぼれ落ちに気をつけたり、自生なたねの抜き取りをしてくれたり、成果が表れています。

生活クラブでんき



電源構成に注目！

…毎月公開、中身は100%自然エネルギー

(11月分確定実績)

生活クラブの電気は、原発由来の電気を使わず自然エネルギーの割合が高い電気です。共同購入開始前の説明会やチラシでは、その割合は30~60%とお知らせしてきました。関西エリアでも昨秋から購入が始まり、今、その電源構成の割合は、請求書や生活クラブエナジーのサイト(上のQRコードでアクセス)で見ることができます。現在、サイトに2016年11月分までの確定値が公開されています。11月分はなんと98%のバイオマス、2%の太陽光、つまり100%自然エネルギーの電気です。

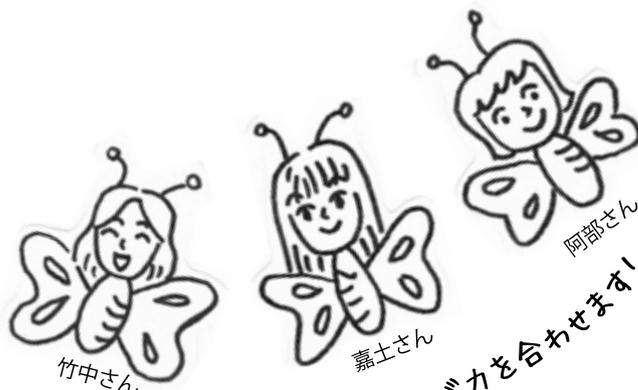
あなたも「生活クラブでんき」の共同購入に参加し、みんなの買うチカラを集めることで自然エネルギーを広めましょう。原発のない未来を子どもたちに手渡しましょう。

三田北神 支部

牛乳・乳製品でパワーアップ！

健康をめざした企画を考えます

三田北神支部の今年度のテーマ消費材は「牛乳・乳製品」。昨年 4 月に開催した「手作り酵素ジュース」が大好評だったことを受け、今話題の「菌活」と、一番身近な消費材「牛乳・乳製品」でさらに健康に！を目指した企画を考えていきます。三田北神支部はますますパワーアップしますよ～！



3人のクリエイターが力を合わせます！

まずは愛農会と交流

この春、企画の第一弾は組合員であるからこその特典である生産者交流からはじめます。

そのお人柄にほれ込んで「愛農会」の武岡さんたちをお願いし、4月20日(木)に淡路島から三田市広野市民センターに来ていただくことになりました！

無農薬、無化学肥料で育てる野菜の様々な工夫や裏話をいっぱい聞いちゃいます。それから何が入っているのかお楽しみの契約野菜「畑の便り」を参加者全員で料理します。4月の旬の野菜は何でしょう？楽しみです。もうすでに豪華なランチが頭の中をかけめぐります！

たのしい企画をみんなで

こんな風になる企画を私たちクリエイターが力を合わせて考えています。みなさんもあれがしたい、これが食べてみたい、この生産者に会いたい、などなど教えてくださいね。

まずは企画に足を運んでみてください！

(三田北神支部クリエイター一同)



大好きな消費材

by 三田北神支部

ビギナーのみなさん、「牛乳・乳製品」の中のお気に入りは何ですか？

なんといっても一番のおススメは「パスチャライズド牛乳」。どうぞそのまま飲んで素朴な甘さを味わってください。牛は良い環境と、こだわりの餌で大切に育てられています。

そしてこの牛乳を「菌」の力で発酵させた「プレーンヨーグルト」。無糖なのでドレッシングにしても、水切りヨーグルトにして生クリーム代わりにしてもおいしく、アイデア次第で色々な用途に使えます。それから夏でも冬でも年中食べたい「アイスクリーム」。安心安全な牛乳に、余計な添加物が入らないアイスクリームは冷凍庫に常備しておきたい一品です。

他にはおやつにもお酒のあてにも最高な「スモークチーズ」。一度袋を開けるとあっという間に無くなること間違いなし！お皿にコロんと乗せてレンジで10秒チン！いい具合に溶けたチーズのゆる～い旨さとスモーキーな香りがたまりません。あなたもカタログ眺めながら、あれこれ注文してみてください。お気に入りがたくさん眠っていますよ～。

今月の組合員

望月 なほみ さん 東神戸支部 2013年10月加入

生活クラブは、静岡で加入してから14年になります。年齢を重ねるごとに、食の安全、安心が一番大切だと強く思ってきました。子どもたちは笑顔がいっぱい、健康に育って欲しい、そんな事を考えると、新聞や本の食に関する記事に注意がいつてしまいます。

生活クラブが発行する情報誌「生活と自治」は、静岡では全組合員が読んでいましたが、都市生活では希望者だけとのこと。ちょっともったいないなと思います。食はもちろん、普段知り得ないような情報も詰まっています。私も時々投稿し、頂いた図書カードで本を買うのが私のささやかな楽しみの一つとなっています。あの記事読んだ？私はこう思うよ、とか皆さんといろいろ話せるようになると嬉しいです。

つれづれとしせいかつ
徒然都市生活

地域で活躍する生活クラブ都市生活の仲間

私とHULA(フラ)

かおり
浜口 香さん (西神戸支部)



KHLのみなさんと。
前列中央が浜口さん。



お友だちに紹介されて入りました

生活クラブ都市生活に加入して2年くらいで、女の子が一人います。もともと添加物のことなど気にはしてはいましたが、目をつむって買っていたものもたくさんありました。そんなところ、友人に紹介されて加入。生協は知っていたけど生活クラブ都市生活は知りませんでした。入ってみて、「おいしい」が第一印象です。価格もそんなに高くなく、安心できるものが楽に手に入るし、もっと早くに知っていたら良かったと思いました。

フラの魅力は暮らしのすべて

昨年の生協祭「あいたくて都市生活」に、フラで出演しました。20代から始めて3年ほど前に自分のチームKHL(香フラレッスン)を立ち上げ、新長田などにクラスを3つ持っています。子育てが一番の毎日ですが、フラのことを考える自分の時間も持っています。就園前の子どもを連れて来られるレッスンもあり、同じ場所にいるので子どもも一緒になって踊ったり歌ったりしますよ。

フラの魅力は…暮らしの全てです。私は始めたらやめられない(笑)。フラをやっていることで、姿勢を正そうとか笑顔でいようとか、みんなでいたいとかいう気持ちが芽生えます。良い踊りをしたいから、身体を整えようと食べものにも気を付ける。私たちはステージの前にレイを自分たちで編みますが、まわりにある植物を使います。踊った後もごみ箱には捨てずに土に還す、そういうのをみんなで経験していくうちに、四季を感じ自然を敬う考え方が身につきます。



これからしたいことは、フラを通して地域の人とつながること。若いお母さんに、育児しながらでも行ける場所はあるんだよと伝えたい。エコロ講座*にも講師登録しました。生活クラブで自分がしたいことを広げられそうです。(談)

*エコロたすけあい制度に加入すると参加できる講座。組合員が講師をして、子育てから老後まで5つの分野で約20の講座があります。

理 事 会 報 告

2016年度第9回理事会報告 2017.2.27.10:00-16:50 於:神戸市勤労会館406号室
(報告承認5項目、協議決定事項6項目 省略)

1. 2016年度報告・2017年度方針 2次案の検討
方針策定・議案書作成会議で各担当理事会の討議をまとめた2次案について検討した。
2. 2017年度事業計画策定について
事業計画予算2次案について検討した。組合員活動費予算について活動計画にそった積上げ予算を検討した。概ね前年度と同規模となる。
3. 2017年度第31回通常総代会開催に関わる事項について確認した。
総代及び第17期役員選挙の定数、選挙管理委員などについて決定し、総代会にむけた基本スケジュールを確認した。3月1日に公示する。
4. 2016年度みなし脱退処理について、対象となる19名について「みなし脱退」処理に付すことを確認した。
5. 合同クリエイター会議の開催内容について
3月13日開催の2017年度合同クリエイター会議の内容を確認した。
6. 庄内(遊佐)太陽光計画への資金拠出について
生活クラブ都市生活としての事業目的会社への出資参画と融資について対応を確認した。
7. 地域イベントへの対応として、「2017アースデイ神戸(5/4-5)」「神戸食フェス(4/9)」への出店と対応準備について確認した。

(諸会議報告)

連合理事会、各委員会の報告および各担当理事会の報告を共有した。

(事業報告)

1月決算報告を確認した。1月供給高は予算比111.8%と超過達成、一方、供給剰余率は計画を下回った。経費は物件費で前月との執行月のずれで予算比90.8%、経費トータルで94.2%と抑制。結果、経常剰余は単月予算を800万円上回った。2月の加入は7週時点で73名となり、計画を32名割れ。脱退は103名で計画より27名少ない。一人当利用高は、計画を超過達成。30周年記念供給は、12週配達をもって終了する。



自分のエリアの近くで食育講座
Q はありませんか？

A 食育活動を広めるために、食育
セミナー&ランチを名谷センター
(神戸市垂水区)の食育スタジオで定期的

に開催しています。旬と行事食、現代の食の問題など様々なテーマのセミナーに消費材を使った美味しいランチが付くとあって人気の講座です。「行きたいけど、遠いのよね…」という方には、支部で行う出張食育セミナー&ランチをおすすめします。昨年度は姫路・三田北神・宝塚など6支部で計10回開催しました。出張というだけでなく、食育スタジオと異なるテーマでも開催しています。魚の手開き・出汁の取り方・ウインナー作り・親子クッキング等バラエティーに富んでいます。企画案内はピンク色の食育プロジェクトのチラシや支部機関紙に載っていますので、近所で行われる企画もお見逃しなく！

生活クラブの消費材は『食べ物』だけじゃありません！

身の回りの生活用品も生活クラブで！

生活クラブは、「生活用品」にも厳しい基準があります。「どこで買っても同じ」じゃない、こだわりがあります。たとえば、フライパンの場合は…



どんなフライパンを使っていますか？

一般的に、軽い・錆びない・焦げ付かない・お手入れが簡単など、便利なフライパンとしてフッ素樹脂加工(テフロン加工)が広く使われていますが、『暮らしのカタログ』に掲載されているのは鉄製。

どうして鉄製のフライパン？

フッ素樹脂加工には、便利さの反面、「短時間で買い替えが必要」「加熱しすぎると有毒ガスが発生(一般に二百数十℃以上)」など、耐久性や安全性でのマイナス面もあります。でも、鉄のフライパンだと、「高温調理でおいしくできる」「丈夫で耐久性がよい」「鉄分補給ができる」などの特長があります。焦げ付きや錆びやすさなども、余熱があるうちに水洗いする等ちょっとしたコツさえ守れば、長く快適に使えます。しかも、国産で、工程を確かめたり、組合員の要望で改善したりすることも可能です。

鉄製のフライパンは、安全で、環境にも優しく、国内の産業を守ることににつながる消費材なのです。

学習会や展示会にも行ってみませんか？

3月3日には、東神戸支部主催で、フライパンをはじめ、生活クラブで多くの調理器具を取り扱う下村企販(株)の学習会が開かれました。生産者にとって消費材の意味を知り、実物を見て、サイズや重さを確かめることもでき、参加者にはとても好評でした。今後、このほかにも、靴や家電製品などの学習会・展示会も企画されています。

チラシや機関紙、サイトなどで情報をチェックして、ぜひ参加してみてください。



「食べるカタログ」だけでなく、組合員の思いや願いの詰まった「暮らしのカタログ」「住まいのカタログ」なども利用して、シンプルで豊かな暮らし作りに役立てていきましょう。

下村企販(株)…金物加工の集積地新潟県燕市で、地元でつくる「燕三条産」に力を入れた国産の台所用品等を企画、設計、製造、販売しています。

3月号より 機関紙モニターの「つがやき」

「ビジョンフード」は一日にしてならず、でしょうか。私たち消費者が目に見える食品、食材のことだけを考えるのではなく、その後ろにあるものや、生産者のこと、将来のことを考えながら購入し、頂かなければならないと反省しました。

(東神戸 Y.H)

編集雑感 生活クラブ都市生活の2017年度の活動が始まりました。大きなテーマは仲間づくり。あらゆる企画、活動の場面でたくさんの人を誘い、生活クラブの仲間を迎えます。機関紙都市生活は、特に加入間もない「ビギナー」にも読みやすい機関紙をめざして一年間紙面を作っていきます。おすすめの記事は「徒然都市生活」。地域で活躍する組合員、推薦もお待ちしております。(T)

職員こぼれ話

組織部長・名谷センター長
中田 勝治

生活クラブ都市生活の職員が、日ごとの業務、身のまわりのできごとを通して見たもの、聞いたことをお伝えします。

人生が開けた朝

今は昔。よく晴れた、ある日曜日の朝の目覚め。愛猫たちの鳴き声がいつもと違って興奮気味だ。

「うるさいなあ」起きだして食卓に行くと、「これかあ！」グリルで焼いたばかりの生活クラブのあじの開きでした。しかし魚でもこれほど我を失っているネコたちは見たことがありません。「前にひとつ食べられてしもうて」と家人。そんなに旨かったのか。よしよし。どれ、ぼくもお呼ばれするか。魚の干物が旨いと思ったことのないぼくは、期待せずに一口。

「なんだコレハ！」休日の朝のふやけた気分が一瞬で充電されたよう。…鼻腔に抜けるその味と香り。目の前のあじは、かつて生き物だったことを悟らせるに十分な生命力をいまだに備えているように感じた…(美味しんぼ風)

ううむ。今までいったい何を食べてきたのだろう。あじの開きで人生がまた一ページ開けたのでした。